



FAX 03-3818-5940 認定NPO法人開発教育協会(DEAR)事務局行き
TEL 03-5844-3630 E-mail d-lab@dear.or.jp

d-lab 2020 第38回開発教育全国研究集会 参加申込書

※□は該当箇所にチェック/黒のボールペンなどではっきりとご記入ください

1. 参加者・ご連絡先について ※1団体で複数名お申込みの場合はコピーしてご利用ください

ふりがな お名前	TEL
	FAX
ご住所	〒 番地・建物名までご記入ください
E-mail	メールマガジン(月1回・無料)購読を希望する方はご記入ください <input type="checkbox"/> DEARのメルマガ <input type="checkbox"/> ONCのメルマガ <input type="checkbox"/> 既読 <input type="checkbox"/> 希望しない
区分	<input type="checkbox"/> 教員 <input type="checkbox"/> NGO・NPO <input type="checkbox"/> 団体職員 <input type="checkbox"/> 自治体・官公庁 <input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 学生・研究者 <input type="checkbox"/> その他()
学校・勤務先	教員の方・学生の方は可能であればご記入ください 学年: 教科・学科:
ご所属団体(あれば)	
DEAR・ONCの 会員ですか?	<input type="checkbox"/> 団体会員(<input type="checkbox"/> DEAR <input type="checkbox"/> ONC) <input type="checkbox"/> 個人会員(<input type="checkbox"/> DEAR <input type="checkbox"/> ONC) <input type="checkbox"/> 学生会員(<input type="checkbox"/> DEAR <input type="checkbox"/> ONC) <input type="checkbox"/> 会員ではありません <input type="checkbox"/> 新規入会希望(<input type="checkbox"/> DEAR <input type="checkbox"/> ONC)
d-labを知った きっかけは?	<input type="checkbox"/> ウェブサイト <input type="checkbox"/> フェイスブック <input type="checkbox"/> ツイッター <input type="checkbox"/> DEARニュースレター <input type="checkbox"/> ちらし <input type="checkbox"/> 他団体や知人() <input type="checkbox"/> ほか()

2. 参加プログラムを選んでください ※希望するプログラムに各コマ1つチェックしてください。

2月20日(土)	10:00~12:00 <input type="checkbox"/> A:オープニングパフォーマンス・全体会 13:00~15:00 <input type="checkbox"/> B-1:島くとうば体験 <input type="checkbox"/> B-2:入門講座 <input type="checkbox"/> B-3:地球の食卓
2月21日(日)	10:00~12:00 <input type="checkbox"/> C-1:ひめゆり <input type="checkbox"/> C-2:プラスチックごみ <input type="checkbox"/> C-3:スマホ
2月22日(月)	13:30~15:00 <input type="checkbox"/> D:ぬちぐすいまちまーいオンラインツアー
2月23日(火・祝)	10:00~13:00 <input type="checkbox"/> E-1:ウチナンチュ <input type="checkbox"/> E-2:伊江島・土地闘争 <input type="checkbox"/> E-3:気候変動 14:00~17:00 <input type="checkbox"/> F-1:多文化共生 <input type="checkbox"/> F-2:自然と観光開発 <input type="checkbox"/> F-3:地域のSDGs

3. 参加費を選んでください ※いずれか1つを選択

3~4日間参加	<input type="checkbox"/> 一般6,000円 <input type="checkbox"/> DEAR・ONC会員4,500円 <input type="checkbox"/> 学生・高校生以下3,000円
2日間参加	<input type="checkbox"/> 一般4,000円 <input type="checkbox"/> DEAR・ONC会員3,000円 <input type="checkbox"/> 学生・高校生以下2,000円
1日参加	<input type="checkbox"/> 一般2,000円 <input type="checkbox"/> DEAR・ONC会員1,500円 <input type="checkbox"/> 学生・高校生以下1,000円

4. 参加サポートについて ※当てはまる方のみご記入ください

手話通訳、要約筆記など、参加に関してご希望やご相談がありましたら、お気軽にご相談ください。なお一部有料にさせて頂く可能性がございます。また最善は尽くしますが、オンライン会場やその他の都合によりご希望に添えない場合もございますのでご了承ください。なお、ご相談・お申込みは1月15日(金)までといたします。

希望します → 内容()

5. その他・ご質問やご要望があればご記入ください。

申込時にご記入いただいた個人情報は事前承諾なしに第三者へ開示されることはありません。当会の個人情報保護指針については、ウェブサイトをご参照ください。
(<http://www.dear.or.jp/org/1693/>) また、上記の情報は本イベントの統計資料作成のほか、今後当会からのお知らせに利用させていただく場合があります。

お問い合わせ | 認定NPO法人 開発教育協会(DEAR) 〒112-0002 東京都文京区 小石川2-17-41 TCC2号館3階 担当:岩岡(いわおか)

TEL 03-5844-3630 平日10時~18時 FAX 03-3818-5940 HP <http://www.dear.or.jp/event/d-lab2020/5950/>



開発教育 国際理解教育

ぬちぐすい・育む学び

昔の人は言いました。巡り行くもの、また巡り還る、と。
だからあなたは、深ぶかと歌ってください。
のびやかに踊ってください。心をこめて生きてください。
たとえあなたが、傷ついていても傷ついたことなどないかのように
愛してください。
—「世界がもし100人の村だったら 総集編」
(池田香代子+マガジンハウス編、2008年)の一節より—

沖縄はかつて国内最大の地上戦を経験し、多くの尊い命を失いました。戦後の復興の中で、傷つき傷つけあった経験を経て、自らの文化を守り継承しながら、「ぬちぐすい(命こそ宝)」を育んできました。上の一節は、歌い踊りながら再復興してきた沖縄の暮らしが表現されています。コロナ禍で多くの人が傷つき、明るい未来を想像しがたい状況が続いています。私たちはこの経験から何を学ぶのか、公正で持続可能な社会をどのように創っていくのか、ここ・沖縄を通して「ぬちぐすい(命こそ宝)」を考え、実践していく時間になりたいと思います。

2021
2/20 sat. - 23 tue. 10:00~18:00

対象者: 開発教育やテーマに関心のある教育関係者、NGO関係者、学生 など
定員: 200名(事前申込制)

オンライン
会議システム
(ZOOM)を
使用します
ZOOM

参加費	一般	会員※	学生・高校生以下
3~4日間参加	6,000円	4,500円	3,000円
2日間参加	4,000円	3,000円	2,000円
1日参加	2,000円	1,500円	1,000円

※開発教育協会または沖縄NGOセンターの会員が対象です

主催: d-lab2020実行委員会、(特活)開発教育協会(DEAR)、(特活)沖縄NGOセンター(ONC) 助成: (一財)日本国際協力システム 後援: 文部科学省、外務省、環境省、消費者庁、国際協力機構、国連広報センター、ESD活動支援センター、沖縄県教育委員会、(株)沖縄タイムス社、(株)琉球新報社、(一社)SDGs 市民社会ネットワーク、(特活)関西NGO協議会、(特活)国際協力NGOセンター、(一財)自治体国際化協会、(公社)青年海外協力協会JOCA沖縄事務所、(公財)ユネスコ・アジア文化センター(一部申請中)



d-lab 2020 プログラム(予定)

プログラム概要と お申し込みについて 3つのポイント

POINT1

ZOOM会場を2~3設けて実施します。プログラムA~Fは選択制、事前予約制です。定員は、全体会は200名程度、ワークショップ・オンラインツアー・分科会は各回30名程度です。

POINT2

オンライン会議ツール(ZOOM)を使用します。接続環境(インターネット)や機器(PC、ウェブカメラ、イヤホンマイクなど)は予めご用意ください。ZOOMの使用が初めての方は、予めダウンロードをお願いします。※ZOOMの公式ホームページ <https://zoom.us/>

POINT3

画面共有や配布資料がある場合もありますので、PCでの参加を推奨します。また、プログラムには定員がありますので、必ずお一人1アカウントでご参加ください。

1日目 2月20日(土)

10:00~12:00	A:会場① 1:開会式・オリエンテーション 2:オープニングパフォーマンス「沖縄の文化・言葉・自己決定」 ゲスト:沖縄ハンズオン 3:全体会「ぬちどう宝」を育む学び ゲスト:根間 広人(沖縄ハンズオン)、伊是名 夏子(コラムニスト)、玉城 直美(ONC・沖縄キリスト教大学院大学) 沖縄の土地の歴史、言語、開発における様々な課題に、YesかNoかではなく、「対話」を大切にしながら向き合う3名からお話を聞きます。参加者の声も交えながら、開発教育、SDGs、ウチナーグチ、障がい、ジェンダー平等など、多岐に渡るテーマをゆんたく(お話)します。それらが沖縄における、「ぬちどう宝」を育む学びにつながっていることを聞きあう時間になります。		
13:00~15:00	B-1:会場① ワークショップ① 「島くとうば」体験ワークショップ(根間 広人/沖縄ハンズオン)	B-2:会場② ワークショップ② 開発教育入門講座〜パーム油のはなし(DEAR入門タスクチーム)	B-3:会場③ ワークショップ③ 写真で学ぼう!地球の食卓(八木 亜紀子/DEAR事業主任)
15:30~18:15	会場① / 会場② 自主ラウンドテーブル(各70分)4コマ 試作教材の発表や討論会、オンラインで国内外とつながる試みなど、多彩なプログラムが実施されます。 ※15:30~16:40/17:00~18:10		
19:00~20:30	会場① 交流会(自由参加) 国内外から集まる参加者との出会いと交流を楽しみましょう。国際色豊かなパフォーマンス(空手、ラテンダンス、エイサーなど)もあります!		

2日目 2月21日(日)

10:00~12:00	C-1:会場① ワークショップ④ 「ひめゆり」から戦争体験を学び、伝えるために「私たち」ができること(古賀 徳子/ひめゆり平和祈念資料館学芸員、佐々木 綾菜/ONC)	C-2:会場② ワークショップ⑤ プラスチックごみ問題を考える(伊藤 容子/DEAR事業担当)	C-3:会場③ ワークショップ⑥ スマホから考える世界・わたし・SDGs(佐藤 友紀/DEAR副代表理事)
13:00~17:10	会場① / 会場② 自主ラウンドテーブル(各70分)6コマ ※13:00~14:10/14:30~15:40/16:00~17:10		
	会場③ 実践事例・研究報告(各30分)4コマ ※13:00~13:30/13:45~14:15/14:30~15:00/15:15~15:45		

3日目 2月22日(月)

13:30~16:00	D:会場① ぬちぐすいまちまーいオンラインツアー(新里 聡/国際旅行社) 沖縄で創業58年、地元の皆様と共に歩んできた旅行会社が送る、地域に精通する方々と巡るオンラインツアーです。沖縄方言の「ぬちぐすい(命薬)」とは沖縄の食や人や自然と触れ合ったときに、心と体が温かくなり、癒され元気になること。生活の中にあるぬちぐすいを見、聞いて楽しめるツアーをお届けできればと思います。ツアー後は、参加者同士で感想共有や交流会(自由参加)を行います。
-------------	---



国際色豊かなパフォーマンス(1日目の交流会)



昨年の全体会の様子



ぬちぐすいまちまーいオンラインツアー(3日目)

4日目 2月23日(火・祝)

6つの分科会を通して、様々なテーマについて具体的な議論や体験をしながら、それぞれの実践や研究を深めます。

10:00~13:00	E-1:会場① 第1分科会 世界のウチナーンチュ!—移民教材から考えるアイデンティティ ゲスト:内山 直美(南風原中学校教頭)、屋良 真弓(南風原小学校教諭) 進行役:沖縄NGOセンター 沖縄の移民についての教材を体験していただきます。「アイデンティティとは」「地域のことを学ぶ意義」などについて参加者の皆様と一緒に考えて行きたいです。中学校3年間を見通した体系的な学習や小学校の取り組みも紹介します。	E-2:会場② 第2分科会 伊江島・土地闘争の非暴力の闘いから、現代の私たちは何が学べるか ゲスト:渡嘉敷 紘子(一般財団法人わびあいの里) 進行役:JOCA沖縄 1950年代、本土復帰を目指した沖縄で起こった島ぐるみ闘争に大きな影響を与えた、伊江島の農民たちの非暴力の抵抗である「食行進」。沖縄戦の後に駐留したアメリカ軍に土地をとりだされた農民たちの生きるための闘いの中で作られた「陳情規定」を題材に、今の私たちの身近な生活の中で活かしていけるか、どのように「平和」を作っていくかを考えていきます。	E-3:会場③ 第3分科会 SDGsに教育でどう取り組むのか? 気候変動を切り口に考える ゲスト:高橋 英恵(FoE Japan)、羽角 章(神奈川県立高校非常勤講師) コメンテーター:田中 治彦(上智大学・DEAR理事) 進行役:近藤 牧子(DEAR副代表理事)、松宮 紗野香(DEAR理事) 「SDGsを教育でどう取り組むのか?」と日々考えている皆さんと、地球的課題に対して「どうする? どうして? どうしたらいい?」を議論します。気候変動の課題に取り組むお二人をゲストを招き、「気候変動に対して教育でできることは何だろうか?」から、さらにSDGsへの取り組みのヒントが生まれることを期待しています。
14:00~17:00	F-1:会場① 第4分科会 多文化共生って何だろう?!~ネパール人留学生と一緒に考える~ ゲスト:グルン スバス(沖縄ネパール友好協会/ONFA) 進行役:オジャ ラックスマン(ONFA)、土橋 泰子・大仲 るみ子(多文化ネットワークふ!沖縄) 沖縄で暮らすネパール人は年々増加し、2020年9月には2800人にのぼります。将来への志高く、やってきた沖縄で、彼らは何を見て、何を感じているのか。ネパール人留学生と一緒に「多文化共生」への一歩を踏み出してみませんか。2004年にDEARで制作された開発教育教材「レヌカのまなび」をアレンジした「スバスのまなび」を紹介します。	F-2:会場② 第5分科会 沖縄の自然と観光開発~ヤンバルの森を歩いてみよう! ゲスト:佐々木 健志(琉球大学博物館(風樹館)) 進行役:島袋 美由紀(琉球大学博物館(風樹館)) 沖縄島北部地域にある「ヤンバル」は、東洋のガラパゴスとも呼ばれる希少な森林地域です。森を散策しながらめずらしい動植物に出会うバーチャルツアーのあとに、島の種類や琉球列島の成り立ち、生物の分布や生態などを紹介します。エコツーリズムの課題にも触れながら、沖縄の自然資源の持続的な利用に向けて、一緒に考えましょう。	F-3:会場③ 第6分科会 地域ですすめるSDGs~沖縄、北海道、関西から ゲスト:岩崎 裕保(関西NGO協議会)、小泉 雅弘(さっぽろ自由学校「遊」)、玉城 直美(ONC・沖縄キリスト教大学院大学) 進行役:中村 絵乃(DEAR事務局長) 持続可能な開発目標(SDGs)の達成には地域での取り組みが欠かせません。市民が主体となり、課題を捉え解決の方法を多様な人々と考え、提案していく取り組みが、各地域ですすめられています。今回は、北海道、関西、沖縄の事例を通して、参加者自身が持続可能な社会を構想し、社会づくりに参加する方法を考えます。
17:15~18:30	会場① ふりかえり会・閉会式 4日間の学びや気づきを参加者同士で共有します。ネットワークづくりにもお役立てください。		

申し込み方法

- 1) 本チラシ裏面またはウェブサイト(<http://www.dear.or.jp/event/d-lab2020/5950/>)の参加申込フォームに必要事項をご記入の上、開発教育協会にお送りください。
- 2) 開発教育協会より申込確認と参加費振込のご案内をメールにてお送りします。
- 3) 参加費を下記振込先にご入金ください。振込が確認された方から、正式なお申込みとさせていただきます。なお、振込期限は原則申込時点から2週間とさせていただきます。ご入金を確認できない場合、自動キャンセルとさせていただきます。お早めにご入金をお願いします。
- 4) 入金確認後、参加確認票をメールでお届けします。当日までお持ちください。

●お支払方法

郵便振替、銀行振込、もしくはクレジットカードでお支払ください。

- ① 郵便振替: 口座番号 00180-8-50096 加入者名(特活)開発教育協会
- ② 銀行振込: 三菱UFJ銀行 高田馬場支店 普通1509685
 名義 特定非営利活動法人開発教育協会
 (トクテイヒエイリカソドウホウジンカイハツキョウウイキョウカイ)
- ③ カード決済: ウェブサイトよりPaypal経由で決済できます。
 (VISA/MASTER/AMEX/JCB)

●キャンセル規定

申込キャンセルのお申し出をされた場合、下記規定に基づいて対応いたします。

- ① 2021年1月22日(金)まで: ご入金いただいた全額を返金いたします。但し、手数料を差し引いた金額を返金させていただきます。
- ② 2021年1月23日(土)以降: 原則として返金できません。予めご了承ください。

